

弥富市事務事業評価シート 平成29年度実施事業対象

No.	25	1	事務事業名	公害対策事業	細事務事業名	公害対策事業	公的関与	9	シート作成日	平成30年6月11日					
課名	環境課		グループ	環境保全	担当課長名	柴田寿文		シート作成者名	福田ひかり						
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 整備事業		<input type="radio"/> 5 施設の管理運営		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託					
	<input type="radio"/> 2 施設の建設		<input type="radio"/> 4 経常的事務事業					<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等					
総合計画	政策目標	2 快適で安全・安心なやとみ			実施計画		事業の開始・終了								
	施策項目	環境自治体の形成			<input type="radio"/> 1 該当		年度 ~ 平成		年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
	主要施策	公害防止対策の推進			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		水質汚濁防止法						
個別計画															
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)										
	市内の排水路、中小河川				水質の改善状況を調査し、快適な住環境を確保します。										
事業の内容	市内の主要河川、市街地の生活排水路・農業地の排水路の水質調査(毎年夏季に実施)を行い、弥富市の生活排水での汚染度を把握します。 検査項目: BOD・COD・DO・大腸菌数などの生活環境項目														
成果指標	①	指標名	河川・水路の水を採取、分析				②	指標名							
		指標設定の考え方	日光川本川の環境基準(E類型)を達成している箇所数(調査数: 市内全域14箇所)		単位	箇所		指標設定の考え方			単位				
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度							
	実績	7	実績	14	目標	※	目標	14	実績		実績		目標	※	目標
	目標	14	目標	14	目標	※	目標		目標		目標	※	目標		
予算費目	会計	一般会計			款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	公害対策費		
直接事業費			平成 28 年度決算額			平成 29 年度決算額			平成 30 年度予算額						
	国・県支出金	395 千円		395 千円		394 千円									
	地方債	千円		千円		千円									
	その他特定財源	千円		千円		千円									
	一般財源	351 千円		378 千円		446 千円									
	計(A)	746 千円		773 千円		840 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.022 人		0.022 人		0.022 人									
		152 千円		152 千円		152 千円									
	臨時職員工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円								
全体事業費(A+B)	898 千円		925 千円		992 千円										

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価						
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	周辺住環境の状況を把握する基礎的事業であり、継続的な実施が必要であります。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	市民の関心度が高い事業であります。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。					<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている		生活排水による水質汚染がずいぶん改善されています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている			
2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。					<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない						
3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。					<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している						
4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。					<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している						
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	住環境整備の必要性・程度を知ろうえでの必要な事業であるため、この事業自体のコストにこだわるものではありません。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
ACTION	一次評価					二次評価									
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A				
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等						
	当面の課題	単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換、公共下水道への接続率が低く、生活雑排水の直接流入があるため、水路のヘドロ堆積が著しい。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)								
	課題解決のための改善計画	単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を増やすこと及び公共下水道等への接続を推進することです。					市内の河川や排水路の水質は、市民の生活に直接影響があり、持続的に検査結果が環境基準に達している必要があり、市の責務として把握しておくべきであると考えます。 検査結果に基づき、公共下水道整備や合併処理浄化槽の推進の施策に繋げる必要があります。								
備考															